# 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科目	区	分	専門基礎分野	授業の方法		講義
科目名	栄養と食事	必修/選	₹択の	)別	必修	授業時数(単位数)	30	(1) 時間(単位
対象学年	1学年	学期及び	が曜日	郞	後期	教室名	4	202,203
担当教員	赤尾 正	験と 野崎・松原徳洲会病院に16年間、管理栄養士として勤務(H1.4-H17.3)。栄養食事指 導、栄養・食事管理、組織運営などに従事。						

## 《科目目標》

管理栄養士・栄養士と連携し、各疾患や患者個々に応じた適正な栄養・食事管理を実践するために必要な知識を習得する。 健康維持・増進のため日常の食生活の改善ポイントや具体的な方法について理解し、実践方法を把握する。

### 《成績評価の方法と基準》

【評価方法】終講試験100%

【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満

### 《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち④臨床栄養学(メディカ出版)

### 《授業外における学習方法》

シラバスに従い、各授業前後にテキスト(該当するページ)を通読する。

### 《履修に当たっての留意点》

栄養と代謝で学んだ内容を基礎として、健康維持・増進のため日常の食生活の改善ポイントや具体的な方法について理解 し、食事指導に活用する。

	授業の					
	葉の	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
<sup>第</sup>   義   1   形	講	授業を 通じての 到達目標	臨床栄養学の基礎について学び、栄養および栄養アセスメント を説明できるようになる テキスト		実施する小テスト①につ	
	我形式	各コマに おける 授業予定	1 臨床栄養学の基礎知識①	プロジェクター	いて復習する	
第	講   到達目標   説明で		栄養アセスメントおよび関係する医療・介護保険制度を理解し、 説明できる	テキスト	事前にテキスト(該当す	
2	義形式	各コマに おける 授業予定	1 臨床栄養学の基礎知識②	プロジェクター	るページ)を通読し、授 業終了後に復習する。	
第	講	授業を 通じての 到達目標	食品成分と食事摂取基準を理解し、実践方法を説明できるようになる		事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授 業終了後に復習する。	
3   形	義形式	各コマに おける 授業予定	2 食品成分と食事摂取基準	テキスト プロジェクター		
第	講	授業を 通じての 到達目標	通じての「エコニーンストーンストーンストーンストーン」		事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授 業終了後に復習する。	
4 形	義形式	各コマに		テキスト プロジェクター		
第	講	授業を 通じての 到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説 明できる		事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授 業終了後に復習する。	
5   形	義形式	各コマに おける 授業予定	4 療養生活と栄養①	テキスト プロジェクター		

	業の法	内容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第義		授業を 通じての 到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト	事前にテキスト(該当す	
6	形式	各コマに おける 授業予定	4 療養生活と栄養②	プロジェクター	るページ)を通読し、授業終了後に復習する。	
第	講義	授業を 適じての 到達目標 明できる デキスト		テキスト	事前にテキスト(該当す	
┨╓┪┋	我形式	各コマに おける 授業予定	5 疾患別の栄養食事療法①	プロジェクター	るページ)を通読し、授 業終了後に復習する。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト	実施する小テスト②について復習する	
8 🗓	形式	各コマに おける 授業予定	5 疾患別の栄養食事療法②	プロジェクター		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト	実施する小テスト③について復習する	
9	我形式	各コマに おける 授業予定	5 疾患別の栄養食事療法③	プロジェクター		
第	講美	授業を 通じての 到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。	
10回	義形式	各コマに おける 授業予定	5 疾患別の栄養食事療法④	プロジェクター		
第	講	授業を 通じての 到達目標	栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	ニナフレ	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授業終了後に復習する。	
11	義形式	各コマに おける 授業予定	5 疾患別の栄養食事療法⑤	テキスト プロジェクター		
第	授業を 通じての 講 到達目樹		栄養食事療法における特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト	事前にテキスト(該当す	
12回	義形式	各コマに おける 授業予定	5 疾患別の栄養食事療法⑥	プロジェクター	るページ)を通読し、授 業終了後に復習する。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	の一根できる		事前にテキスト(該当す	
13 用	我形式	各コマに おける 授業予定	5 疾患別の栄養食事療法⑦	テキスト プロジェクター	るページ)を通読し、授 業終了後に復習する。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	高齢者の特徴を理解し、実践方法のポイントを説明できる	テキスト	事前にテキスト(該当するページ)を通読し、授 業終了後に復習する。	
14	我形式	各コマに おける 授業予定	6 栄養食事指導の実際	プロジェクター		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	まとめ・終講試験		和太子で子では細胞・	
15	義形式	各コマに			配布する「まとめ課題」について復習する	